

10月21日(土) 学習発表会を行いました!

10月21日(土)これまでの学習の成果を発表する「学習発表会」を実施しました。児童が考えた今年度のテーマは、「五条っ子全員で協力して 思い出に残る 最高に楽しい学習発表会にしよう」です。このテーマに向かって、一人一人が自分の力を精一杯発揮し、仲間とともに力を合わせて練習に取り組んできました。

発表会では、緊張した表情や輝く笑顔、楽しそうに踊る姿…など、一人一人の良さやその子らしさが感じられる素晴らしい発表となりました。保護者の皆様の温かい拍手を受けながら、仲間とともにやり遂げた経験は、子供たちの大きな自信につながったと思います。

ご来校いただいたご来賓の皆様、保護者の皆様、大きな拍手をありがとうございました。



11月の行事予定

- 1日(水) PTA 交通安全街頭指導(1年生)
- 6日(月) 防犯避難訓練 諸費引落日 朝会
- 9日(木) 集団下校訓練
- 10日(金) 委員会
- 14日(火) つどい
- 17日(金) 読み聞かせクラブ
- 24日(金) クラブ
- 28日(火) 全校参観日
- 29日(水) 東五条ミュージックフェスタ

全校参観日のご案内

11月28日(火)、全校参観日を実施します。

12:55~13:10 全校合唱「づとい」:体育館

13:20~14:05 授業参観

14:15~14:45 学年・学級懇談

9月30日(日) 五条っ子イベントの開催

9月30日(日)PTAによる「五条っ子イベント」が開催されました。PTA 執行部と特別事業実行委員会(イベント係)の役員さんが中心となり、準備・運営を行ってくれました。

当日は、消毒や換気の感染症対策を講じながら、吹奏楽クラブによるオープニング演奏に始まり、ミニ縁日や広報誌「こだま」のお仕事体験、読み聞かせの会によるスペシャル読み聞かせなど、子供たちにとって、とても楽しく、わくわくする時間となりました。

準備を進めてくださった役員の皆様、ご協力くださった東五条PTAOBの皆様、そしてご参加くださった保護者の皆様、ありがとうございました。



吹奏楽クラブによるオープニング演奏

教頭先生、校長先生による読み聞かせ

東五条

令和5年10月

東五条小学校発行

第267号

東五条小学校

教育目標

実り多かった学習発表会

校長 三浦 一路

雪虫がまるで吹雪のように舞い、朝登校してくる子供たちの髪の毛や服、目や口などに付き、子供たちを悩ませていました。たった2日ほどのことでしたが、実は暑かった今年の夏の影響なのとか。例年見かける、冬の訪れを告げる白い糸状のロウをまとった「トドノネオオワタムシ」は暑さに弱く、夏から秋にかけて暑かった今年はあまり繁殖できなかったようです。それに替わって、今年大発生したのは、「ケヤキフシアブラムシ」でした。本来はケヤキのある暖かい本州の種でしたが、明治時代にケヤキが持ち込まれるとともに北海道でも生息するようになったそうです。寒さには弱いので、いつもの年であれば、白い綿毛をまとったおなじみの雪虫ほど目立たないのでしょう。しかし、温暖化が進み今年のような暑い夏が北海道でも当たり前になると、天敵のいない北海道では、ますます増えてしまうことが危惧されているそうです。自然とは実に微妙なバランスの上に成り立っているものなのです。

さて、今月は学習発表会を開催し、多くの保護者、地域の皆様にご観覧いただくことができました。お忙しい中ご観覧いただいたことに心より感謝申し上げます。

この3年は、学習したことを学級ごとに、平日に分散して発表する形にせざるを得ませんでした。他の学年の発表を互いに見ることもできなかったため、これまでに近い形で実施できたことに大きな価値がありました。

◆休日の一日での開催により、多くのご家族の皆様にご覧いただくことができたこと

1学年ずつの入替え制でしたが、1学年でもとても多くのご家族の皆様に来校いただきました。子供たちの発表を笑顔で見て、笑顔でお帰りいただけたことがうれしかったのはもちろんですが、ようやくこうした機会を設けることができ、ほっと安心いたしました。

◆奇数学年、偶数学年に分かれて、互いに見合うことができたこと

児童公開日を設定したので、互いに見合う中で、下の学年は上の学年の力強い、迫力ある発表に憧れを感じている様子でした。上級生は下級生の元気かわいらしい発表を見て、優しい笑顔で声援を送り、自分たちもしっかりやらねばという意識をもって発表をしていました。かつては当たり前だった、こうした相互に高めあう学校の文化を取り戻せたことが大きな成果でした。画像は児童公開のときにじゅうたん席に座った子供たちの靴の様子です。上級生の靴を見て下級生は自分たちもと思います。下級生の靴の並べ方を見て、上級生はおのずと自分たちの靴を見直します。こうした機会が学校には欠かせないのです。



◆教職員が協働しながら互いに改善できたこと

この3年は平日に学級ごとに発表し、発表する学級以外は通常の授業をしていたため、他の学年の発表はもちろん隣の学級ですら互いに見ることはできませんでした。今年は、児童公開や本番で他の学年の発表を教職員も見ることができ、互いにアドバイスをし合う姿があり、共通の話題から学校として進むべき方向を共有するなど大きな成果がありました。学校の機能を最大限に高めるため、教職員が対話を重ねながら改善を進めることの大切さを改めて感じたところです。

後半に入った今年度の学校の営みですが、前半の成果を確実に生かしながら、更に素敵な五条っ子が育つようしっかりと支えてまいります。

かしこさ
ゆたかさ
たくましさ